

- 11月開催の地域医療連携フォーラムの案内/消化器センター（中面）/耳鼻咽喉科（裏面）

地域医療連携室からのお知らせ

外来予定表の見方

毎月、皆様方へお送りしている外来予定表に掲載されている項目についてご説明します。

- ① 受付時間** 初診の患者さんが受付する時間帯（再診の方は、予約時間までにお越しください。）
- ② 区分**

初診…当院に初めて、またはその診療科に初めて受診する方
以前受診したことはあるが診療が終了した方、または自己中断した方

再診…初診後、継続して治療中の方

初再診…初診と再診の方
- ③ 完全紹介予約制** 他医療機関からの紹介状と、
※予約センター（または地域医療連携室）にて予約することが必要
- ④ 完全予約制** 予約センター（または地域医療連携室）にて予約することが必要
- ⑤ 医師名の頭記号** 医師の職位
【○教授、●客員教授、□准教授、△講師、▲兼任講師、☆助教、★助教（医科）】

※予約センターの連絡先（患者・ご家族からのご予約・変更・取り消し）

●紹介患者 Tel 045-949-7489 ●新患 Tel 045-949-7143

※地域医療連携室の連絡先（医療機関からのご予約） Tel 045-949-7151

病院からのお知らせ

病診連携研修会等の予定 (2019年10月～)

開催日	研修会等名称	主催部署・講師
11月20日（水） 18:00～19:00	日本専門医機構認定 共通講習会【DVD】 DVDによる講習会	演者：昭和大学藤が丘病院 産婦人科 講師 佐々木 康 演題：医療安全
11月21日（木） 18:00～19:00	日本専門医機構認定 共通講習会【DVD】 DVDによる講習会	場所：昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂 ※2日とも同一内容
11月28日（木）	第16回北部病院地域医療連携フォーラム	講演：消化器センター、耳鼻咽喉科 場所：新横浜国際ホテル南館マナーハウス
12月1日（日）	緩和ケア研修会	「PEACE プロジェクト」受講ご希望の医療従事者の方は、病院ホームページをご覧ください

11/28 (木)

19:30 ~ 21:40

講演：消化器センター、耳鼻咽喉科

場所：新横浜国際ホテル南館マナーハウス

地域医療連携フォーラムを開催します。

11月28日(木) 19:30から、新横浜国際ホテルで、2診療科が講演します。

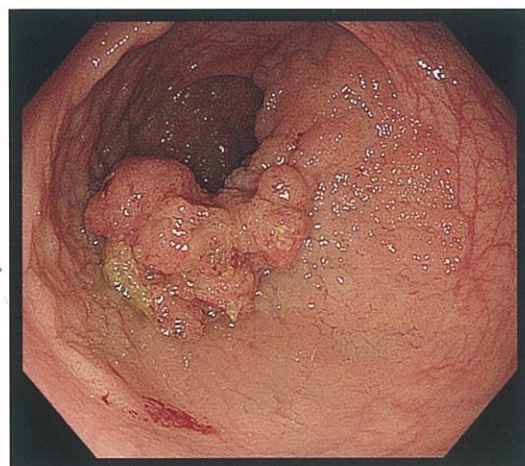
消化器 センター



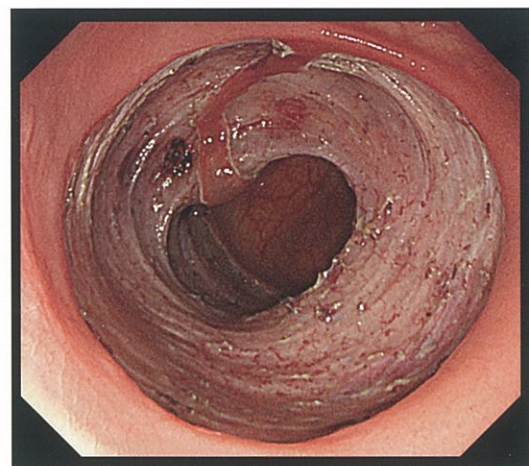
こんにちは、消化器センターの澤田成彦です。

消化器センターでは、工藤進英消化器センター長の元、最小に負担で最大の治療効果をあげるために、内科と外科が一体化となり、診断から治療までを一貫して行っております。

主に大腸癌、胃癌の加療を中心に消化器領域の内視鏡診断、治療には幅広く取り組んでおり、患者さんにやさしい、質の高い検査をこころがけています。



大腸がん



ESD後



切除標本

当センターでは内視鏡治療、腹腔鏡治療を積極的に施行しております。

大腸癌加療においては内視鏡的治療(EMR、ESD)は全国でも1、2位を誇る症例数を行っております。大腸癌切除数でも毎年300例超の症例数の加療を行っており、神奈川県では1位で全国でも9位の症例数です。

一方、胃癌加療においても内視鏡的治療は全国有数の症例数を誇っております。

胃癌の外科的切除数では、毎年100例前後の症例数の加療を行っており、神奈川県では昨年6位でした。

大腸癌・胃癌とも他施設では外科的切除している症例も当消化器センター内科では積極的に内視鏡治療を施行しております。また、進行癌に対しても当消化器センターで抗がん剤の化学療法を施行しております。



モニターを見ながら腹腔鏡手術を施行

〈その他主な治療〉

疾患名	対応
胆嚢炎	腹腔鏡下胆嚢摘出術を年間150例前後施行
総胆管結石	積極的にESTを施行
虫垂炎、ヘルニア	積極的に加療(腹腔鏡手術で主に施行)



ESDを施行

地域医療機関のみなさまへ

このように、消化器センターでは内科・外科が一体となった診療体制を敷いており、患者様の要求に十二分に応えられるよう、日々、努力いたしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科

第16回
北部病院
地域医療連携フォーラム



こんにちは、耳鼻咽喉科の油井健史です。2018年10月に前任者の門倉義幸より引き継ぎとなりました。専門は鼻副鼻腔疾患です。近隣の先生方にご紹介頂き、慢性副鼻腔炎他、内視鏡下鼻副鼻腔手術症例は増加傾向にあります。手術機械、技術の進歩により今後も大きく発展していく領域であります。このほど当

院でも、限られた施設のみで認められる内視鏡下鼻副鼻腔手術V型の施行が可能となりました。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

また、季節の変わり目には体調を崩しやすく、のどの急性炎症、難聴、耳鳴、めまいなど、重症の方がいらっしゃいましたらご紹介頂ければ幸いです。



手術室状況



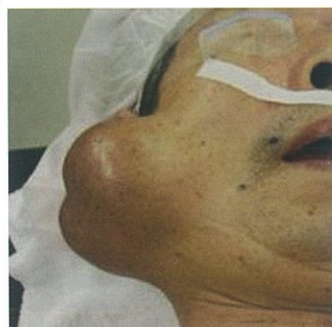
ナビゲーションシステム

	2017年度	2018年度	2019年度 (4月~8月)
内視鏡下 鼻副鼻腔 手術件数	115	153	97

副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍に対する手術治療は、ほぼ全例内視鏡を用いて鼻内より行っています。

シェーバシステム、ナビゲーションシステムを用いて安全、確実、低侵襲な手術を心がけています。

また、限られた施設のみで行えるDrafⅢ型などの内視鏡下鼻副鼻腔手術V型手術(拡大副鼻腔手術)も施行可能です。



地域医療機関のみなさまへ

頸部手術症例もご依頼をお待ちしております。